

## 課題2及び3の説明

（※必ず読んでから、課題に取り組んでください。）

○ 以下のそれぞれの指示に従って取り組んでください。

### ◆提出方法

「課題 提出物チェックシート」、「課題2～3」をメールで提出してください。

提出期日：【庄内会場】令和5年11月17日（金）まで

【村山会場】令和5年12月 1日（金）まで **※期日厳守**

※件名に「受講決定会場及び受講者氏名」を付して送信してください。

（メールアドレス：sabijikan@ysj.or.jp）

※課題の未提出や提出期日までに提出がない等の場合、研修を受講しても課程を修了したものと認められませんので、ご注意ください。

### 【課題2】

#### ◆ねらい

講義部分では、ケース検討会の目的、方法、効果について説明します。ケース検討会を実施することがチームアプローチの強化や人材育成にも効果があることを理解します。演習では、受講者が持ち寄ったケースを基にケース検討を実際に行うことで、ケース検討会の進め方等について理解を深めます。

#### ◆取組方法

##### ・課題2-1

各項目の「自分の事業所でできていること」及び「自分の事業所に必要だと思うこと」を記入してください。

##### ・課題2-2

現在関わっている利用者で、自分自身が困っていること、悩んでいること、他者の意見を聞きたいことなどのある利用者を選定し、ケース検討会報告様式を作成してください。

また、決められた時間内（おおよそ5分程度）で概要を説明する時間がありますので、検討するポイントや目的、ストレングスなどを明確にして記入してください。

#### ◆注意事項

・取り組んだ課題を使用して演習を行いますので、必ず受講者自身が作成してください。

・課題2-1の「今後の対応」は、演習当日に使用しますので空欄のままにしてください。

なお、他は空欄のないように記入してください。

・課題2-2は、A4用紙1枚に収まるよう記載してください。

・個人が特定されないように記載してください。例) 名前…Aさん B市 C事業所 など

### 【課題3】

#### ◆ねらい

サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者として、地域資源との連携は非常に重要です。サービス管理責任者等の業務を通して見出される地域課題を解決するための資源について学びます。

#### ◆取組方法

##### ・課題3-1

「自立支援協議会」、「基幹相談支援センター」、「地域生活支援拠点事業」及び「各機関の関係」について調べ、自身の所属する事業所職員へわかりやすく説明できるように記入してください。

**※研修当日、二人組になり、実際に説明していただきます。**

##### ・課題3-2

『関係機関との連携について』『相談支援専門員との連携について』『担当者会議の開催依頼』『自立支援協議会の出席』の4点について、事業所として「できている」と思われる、具体的な場面や感じていること、今後事業所としてどんな取り組みや対応ができるか等を記入してください。

#### ◆注意事項

##### ・課題3-1

事業所の地域状況ではなく、一般的な内容の情報を記入してください。